

## 1. 令和二年度 活動報告

### 1.1. 委員会について

令和元年度は下記の体制にて活動しました。

委員長： 古家賢一（大分大学）  
副委員長： 梶川嘉延（関西大学）， 松井健太郎（日本放送協会）  
幹事： 小山翔一（東京大学，会計担当）， 加古達也（日本電信電話，企画担当）  
幹事補佐： 若林佑幸（東京都立大学，広報担当）， 小松達也（LINE，広報担当）  
委員； 伊藤信貴（東京大学）， 井本桂右（同志社大学）  
岩居健太（立命館大学）， 岩谷幸雄（東北学院大学）  
榎本成悟（パナソニック）， 岡本学（崇城大学）  
折本寿子（県立広島大学）， 北村大地（香川高等専門学校）  
木下慶介（日本電信電話）， 阪内澄宇（NTT 東日本）  
島内末廣（金沢工業大学）， 杉本岳大（日本放送協会）  
藺田光太郎（長崎大学）， 武岡成人（静岡理工科大学）  
谷川将規（清水建設）， 苅木禎史（千葉工業大学）  
TREVINO Jorge（ヤマハ）， 西川剛樹（パナソニック）  
羽田陽一（電気通信大学）， 藤坂洋一（リオン）  
堀内俊治（KDDI 総合研究所）， 水町光徳（九州工業大学）  
宮崎亮一（徳山工業高等専門学校）， 森川大輔（富山県立大学）  
渡邊貫治（秋田県立大学）

※ 敬称略・五十音順

### 1.2. 研究会について

令和二年度は全 6 回の研究会をオンラインにて開催しました。オンライン開催に伴い発表数は昨年度に比べ減少しておりますが、参加者数は増加の傾向があります。

開催月日，開催地，テーマ，共催，講演件数，頁数及び参加者数は下表のとおりです。6 月には，前年に引き続き情報処理学会音楽情報科学研究会音学シンポジウムに協賛しました。

開催月日			開催地	テーマ (一般は省略)	共催*1	件数	頁数	参加者数
月	日	曜日						
4			休会					
5			休会					
6			休会					
	(6) (7)		オンライン		(情報処理学会音楽情報科学研究会音学シンポジウムに協賛)			
7	20 21		オンライン	応用／電気音響, 聴覚, 音楽音響, 音響教育	日本音響学会聴覚研究会, 日本音響学会音響教育研究会, 日本音響学会音楽音響研究会	13	78	99 66
8	7		オンライン	応用／電気音響, 聴覚	日本音響学会聴覚研究会	7	46	80
9			休会					
10	14		オンライン	IYS2020	Tokyo BISH bash	4	-	166
11	20		オンライン	<ビギナーズセッション> 応用／電気音響, コンテンツ処理, 情報ハイディング, 聴覚	マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会、日本音響学会聴覚研究会	25	134	111
12	14		オンライン	応用／電気音響	(協賛) APSIPA Japan Chapter	13	80	31
1			休会					
2			休会					
3	3 4		オンライン	応用／電気音響, 音声, 信号処理, 超音波	音声研究会, 信号処理研究会 (併催) 超音波研究会, 音声言語情報処理研究会 (協賛) APSIPA Japan Chapter	40	181	121
合計*2						102 (190)	519 (571)	594 (548)

\*1 IEEE SPS Tokyo Joint Chapter は毎月協賛.

\*2 ( )内の数字は昨年度の実績.

11 月には、前年度に引き続いて学生セッションを実施し、電気音響研究会学生研究奨励賞を選奨し、1 名に授与しました。3 月は例年 1 月に開催していた超音波研究会と併催で開催していたサブソサイエティ会議を音声研究会、信号処理研究会との併催で開催しました。また、3 月の合同研究会において音響・超音波サブソサイエティ学生研究奨励賞を選奨し、1 名に授与しました。

### 1.3. IYS イベントについて

2020 年は IYS イベントとして、以下のイベントを開催しました。

- (1) 7 月研究会において、聴覚研究会、音響教育研究会、音楽音響研究会と合同 IYS イベントとして IYS2020 の紹介を実施しています。

- (2) 日本音響学会 2020 年秋季研究発表会で、学術委員会・IYS 実行委員会合同企画分野横断セッション「音響学×人工知能 ～新しい音へのアプローチ～」に協力しました。
- (3) 10 月に Tokyo BISH Bash と共催し IYS2020 の紹介および招待講演を一般向けにオンラインにて開催し、166 人が参加しました。Tokyo BISH Bash は、一般の音声・音響・信号処理に関するエンジニア・研究者のためのミートアップイベントになります。

#### 1.4. 研究発表会及び大会について

日本音響学会秋季及び春季研究発表会はオンラインで開催となりますが、前年度に引き続き盛況となり、下記の講演件数となりました。

2020 年秋季： 99 件（うちポスター43 件，共催を含む）

2021 年春季： 118 件（うちポスター54 件，共催を含む）

合計： 233 件（うちポスター161 件）

また、電子情報通信学会ソサイエティ大会及び総合大会は下記の講演件数となりました。

2020 年ソサイエティ大会： 5 件

2021 年総合大会： 10 件

合計： 15 件

## 2. 令和三年度 活動計画

### 2.1. 委員会について

令和三年度の体制つきましては、学会の承認が得られ次第更新します。

新幹事団は、以下のように予定しています。

委員長 梶川嘉延（関西大）

副委員長 古家賢一（大分大）、小山翔一（東大）

会計幹事 加古達也（NTT）

企画幹事 西浦 敬信（立命館大）

幹事補佐 若林佑幸（都立大）、小松達也（LINE）

### 2.2. 研究会について

令和二年度は全 6 回の研究会を開催する予定です。

開催月日、開催地、テーマ、共催は下記のとおりです。6 月には、前年に引き続き情報処理学会音楽情報科学研究会音学シンポジウムに協賛します。サブソサイエティ合同研究会の開催時期について、US 研より、音響学会や就職活動の時期と重なることから、従来の 3 月から 12 月に移行する提案があり、開催場所は九州、開催形態は共催とし、ポスタ発表でのサブソ学生研究奨励賞の選奨を従来通り 12 月に実施する予定です。

開催 月日	月	日	開催地	テーマ (一般は省略)	共催*3	その他
4			休会			
5			休会			
6			休会			
			オンライン		(情報処理学会音楽情報 科学研究会音学シンポジ ウムに協賛)	
7			未定	応用／電気音 響, 聴覚, 建築 音響, 音響教育	日本音響学会聴覚研究 会, 日本音響学会建築音 響研究会, 日本音響学会 音響教育研究会	
8			未定	応用／電気音 響, 聴覚	日本音響学会聴覚研究会	
9			休会			
10			休会			
11			未定	応用／電気音 響, 聴覚, コン テンツ処理, 情 報ハイディング	マルチメディア情報ハイ ディング・エンリッチメ ント研究会、日本音響学 会聴覚研究会	
12			未定	応用／電気音 響, 超音波	超音波研究会	
1			休会			
2			休会			
3			未定	応用／電気音 響, 音声, 信号 処理, 超音波	音声研究会 信号処理研究会 音声言語情報処理研究会	

### 2.3. 研究発表会および大会について

例年どおり、日本音響学会秋季及び春季研究発表会、及び電子情報通信学会ソサイエティ大会及び総合大会のプログラム編成に関わる予定です。

以上